

週間市場レポート (2021年3月29日~4月2日)

1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/3/26	先週末 2021/4/2	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,176.70	29,854.00	2.32 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,984.16	1,971.62	▲0.63 ↘
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,072.88	33,153.21	0.24 ↗
S&P500種指数		3,974.54	4,019.87	1.14 ↗
ナスダック総合指数		13,138.72	13,480.11	2.60 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,866.68	3,945.96	2.05 ↗
S&P/ASX300指数		6,810.15	6,814.22	0.06 ↗
上海総合指数		3,418.33	3,484.39	1.93 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,046.06	1,069.81	2.27 ↗
東証REIT指数		2,003.14	2,004.63	0.07 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		778.23	782.20	0.51 ↗
ASX300 REIT 指数		1,423.20	1,422.20	▲0.07 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		185.37	186.26	0.48 ↗
日本10年国債 (%)		0.083	0.126	0.043 ↗
米国10年国債 (%)		1.676	1.722	0.046 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.346	▲0.328	0.018 ↗
英国10年国債 (%)		0.757	0.795	0.038 ↗
ドル/円		109.64	110.69	0.96 ↗
ユーロ/円		129.34	130.17	0.64 ↗
英ポンド/円		151.28	153.16	1.24 ↗
豪ドル/円		83.79	84.17	0.45 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,106.28	3,240.18	4.31 ↗
WTI原油先物 (ドル)		60.97	61.45	0.79 ↗
CRB指数		187.73	186.70	▲0.55 ↘

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米国で新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、国内でも接種普及により経済の正常化が進むとの期待から、景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われました。1日に公表された、日銀短観で国内企業の景況感が改善されたことも買い安心感をサポートしました。TOPIXは3月期決算企業の配当の権利落ちの影響が日経平均株価に比べて大きく、30、31日は2日連続で下落し、週間では小幅に下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 イースター (復活祭) 休暇のため海外市場は4月1日のデータ

≪ 債券 ≫

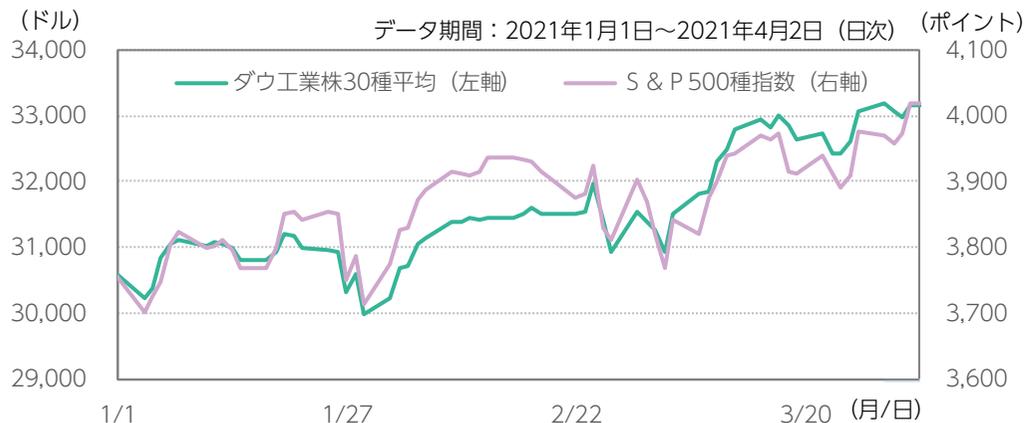
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。バイデン米大統領が新型コロナウイルスのワクチン接種倍増計画を公表し、ワクチン接種が加速するとの期待から、投資家のリスク選好姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。新型コロナウイルスワクチン普及やバイデン大統領が公表したインフラ投資計画で経済活動が早期に正常化に向かうとの期待から、景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われました。一方、長期金利が再び1.7%台をつけたことから、割高感が意識されやすいハイテク株を中心に売られ、週間では小幅な上昇にとどまりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。新型コロナウイルスのワクチン普及やインフラ投資などの経済対策で米国景気の回復ペースが速まるとの見方から、米長期金利が再び上昇し、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

米国株式市場が休場であった2日(金)公表の3月米雇用統計は、非農業部門雇用者数が、前月比91万6,000人増と市場予想を大幅に上回り、米経済の回復が意識される結果となりました。

バイデン米大統領は、3月31日に大規模なインフラ投資計画を発表しました。老朽化した道路や鉄道など交通網の整備で、数百万人の雇用創出が可能となると強調しました。投資額は8年間でおよそ2兆2,500億米ドル（約250兆円）となる見込みで、財源は企業増税でまかなうため、議会では反対派も多く早期実現に時間を要することが予想されます。

今週の株式市場は、堅調な米経済指標等を受けて米国景気の回復が加速するとの期待から日米両市場ともに上昇すると見込みます。なお、国内では新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向にあり、感染者が急増する大阪府、兵庫県、宮城県の3府県へ『まん延防止等重点措置（まん防）』が5日より1カ月間適用されます。政府や自治体による感染抑制策に期待が高まるものの、さらなる感染者の急増で、上記3府県以外にもまん防が適用されることとなれば、景気回復が遅れると見方から国内株式は売られることもありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>